

平成28年度 ヘルパーステーション(訪問介護)事業報告 (期間:平成 28 年 4 月 ~ 平成 29 年 3 月末)

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	結果値	実施報告
地域貢献 の視点	・市内クリーン作戦	・ペーロン城周辺のゴミ拾い	実施回数	年2回	年2回実施	・居宅と合同で4月12日、10月12日にペーロン城、マックスバリュー周辺のゴミ拾いを実施。
収支 の視点	・訪問件数の維持、増加を図る	・各居宅に営業活動実施	訪問件数	毎月650件	月平均746件	・パンフレットを作成し広報活動を実施。 ・実績配布の際や担当者会議の際にヘルパーの空き状況を伝えるなどし営業を実施。 ・新規契約 26件 終了者 33件(こすもす利用 5件、自立 4件、死去 7件、天馬の郷 5件、家族同居 3件、他施設 4件、小規模 3件、その他 2件) ・平均介護度 4月1. 07 → 3月1. 33 ・要介護と支援の割合 4月4. 3 : 5. 7 → 3月5. 1 : 4. 9 要介護者 0. 8割up 要支援者 0. 8割down(いずれ給付対象外)
利用者の 視点	・利用者の思いを大切にし住み慣れた地域	・地域、他事業所と連携を図り情報を共有し	利用者件数	月70件	月74. 6件	・各ヘルパーと報・連・相の周知徹底を図り、日々変わる利用者の健康、精神状態等を把握し担当ヘルパー全員で情報の共有ができるように徹底した。 ・担当者会議等で関係機関との情報交換等を行い連携を強化し、課題解決を図るよう努力した。 担当者会議 月平均9. 6回出席
	で安心して生活が続けられるよう支援する	サービスを実施する				
業務プロセス の視点	・利用者ごとの書類の整備	・利用者ごとに訪問介護計画書、モニタリン	利用者件数	月5件	月2件	・今年度だけではなく歴年の書類不備を点検していくと、月5件の件数は実施できなかった
		グ、個別援助計画書等法令にのった利				
		用者ごとの帳票の整備				
学習と成長 の視点	・定期的なヒヤリハットの記入により事故	・各ヘルパーが定期的にヒヤリハットを記入	報告件数	各ヘルパー1件	4件	・定期的なヒヤリハットの提出が出来なかったため事例検討にはつながらなかった。 ・県、西播磨ヘルパー協議会主催の研修会に参加 山本3回、大村1回、藤友1回参加
	防止につなげる	し事例検討することにより、各自が問題点				
		に気づき事故防止につなげる				
	・外部研修への参加の呼びかけ	・毎月のミーティングの他に外部研修に参加	実施回数	年6回	年5回	